

基本構想（素案）における利活用イメージ

令和3年9月
県庁舎跡地活用室

「広場」「情報発信機能」「交流支援機能」などを、県庁舎跡地と県警本部跡地に効果的に配置
まず広場等を整備し、利用状況を検証した上で、その後の整備を検討するなど、段階的な整備を推進

石垣上

この地の歴史を感じつつ、幅広い賑わいや交流を促す広場や空間を整備

敷地中央部に、低層の建物の配置を検討
(1フロア1,000~1,500㎡の2階建て程度)

具体的機能

- ✓ 「広場」 カフェやベンチ等を併設
- ✓ 歴史等の「情報発信機能」
- ✓ 「交流支援機能」
多目的交流スペース、研修・講義スペース、プレゼンスペース等を設置

石垣下

出島との連携等にも留意し、人々が行き交う賑わいの空間を整備

隣接するガソリンスタンド敷地を含めた一体活用を検討

旧県庁立体駐車場付近

- ✓ 出土した石垣を見せることを検討
- ✓ 本県の魅力を伝える「情報発信機能」

第一別館跡地付近

- ✓ 石垣上と下をつなぐ階段等を整備

第二別館跡地付近

- ✓ バスベイや待合所を設置

旧第三別館

- ✓ 利活用ニーズや改修費用等を踏まえ、最終的な方向性を整理



県警本部跡地

周辺エリアの開発との連動にも留意し、産学官等の連携によるオープンイノベーション等を推進

民間開発を基本に、周辺部も含めた活用を検討
具体的機能

- ✓ 「交流支援機能」
コワーキングスペース、シェアオフィス、共同研究スペース、交流サロン等を設置
- ✓ 民間開発を基本に、企業向けオフィス等の整備などを含め検討



広場（イメージ）



物産展（イメージ）



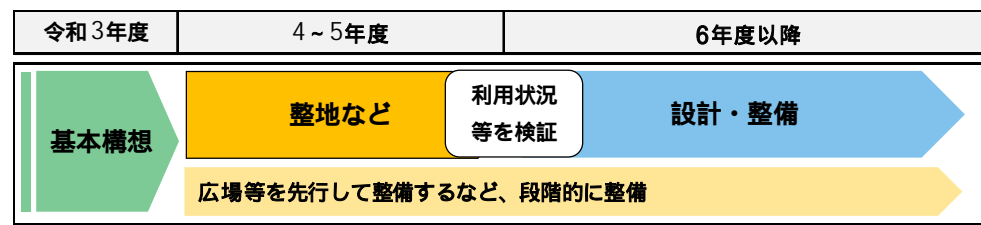
交流スペース（イメージ）



シェアオフィス（イメージ）

今後の進め方（想定）

広場などを暫定的に供用し、利用状況等を検証のうえ、その後の整備を検討



基本構想（素案）における利活用イメージ

素案における機能や配置等の考え方を基に現時点のイメージとして示したもの。
まず広場等を暫定供用し、検証しながら段階的な整備を推進。

市役所側からのイメージ

長崎駅方面



出島側からのイメージ

具体的な建物等の規模や配置、デザイン等は今後検討のうえ決定